



レオパレス21 ミャンマーオープン 2016 レポート

通算 24 アンダーで S・ノリス選手が優勝。 2位タイに矢野東選手。

アジアツアー、JGTO国内ツアー共催の「レオパレス21 ミャンマーオープン」は、4日間の日程を終了。3日目に61の驚異的なスコアを出し、2位グループから7打差でスタートした南アフリカのS・ノリス選手がリードを守りきり優勝した。

日本人選手としては、矢野東選手が最終組で回り、最終ホールでもバーディーを奪うなど健闘を見せ4打伸ばし、通算20アンダーで、2位タイに入った。

また、15アンダーの8位タイには池田勇太選手、永野竜太郎選手が入る活躍をした。選手会長時代から、この大会の開催に大きく関わった池田選手は最終日で順位を伸ばし、成績においても存在感を見せた。

表彰式ではミャンマーの伝統舞踊も披露され、選手もスポンサーであるミャンマービールを手にするなど、和やかな雰囲気、4日間の熱戦の幕を閉じた。

